



広報

2016.2.15 No.134

あした

2月号



特集 カンボジア派遣事業

芦北ひまわり第5学校を贈呈

- 2 記録的大寒波が襲来
- 4 二十歳の門出 成人式
- 6 まちのわだい
 - / 芦高生がご当地弁当考案
 - / 芦北町音楽祭
 - / 町と警察署が連携 安全・安心会議
 - / 宝くじ助成で備品整備
- 8 三太郎駅伝大会
 - / 都道府県対抗駅伝出場 井川龍人くん
- 9 軽自動車税の税額が変わります
- 10 保健センターだより
- 11 芦北に残る文化遺産
 - / 各種障害者手当
- 12 警察署 / 消防署
- 13 イベントカレンダー
- 14 特集 カンボジア派遣事業
 - 芦北ひまわり第5学校贈呈式
- 22 お知らせ
- 24 県広報コンクール写真部門で特選
 - / あしきた元気自慢 宮島昌さん
 - / 絵手紙、パッチワーク
- 25 書道 / 出生・おくやみ
- 26 星野富弘美術館公募展入賞者決定

今月の表紙「芦北ひまわり第5学校」
 町と町国際交流協会が取り組んでいるカンボジアに学校を贈る運動で、たくさんの人の募金により5校目の校舎が建設されました。

人口のうごき (H28. 2. 1現在) ()内は前月比		
人 口	18,427人	(-28)
男	8,669人	(-12)
女	9,758人	(-16)
65歳以上	7,278人	(± 0)
世 帯 数	7,435世帯	(- 3)

記録的大寒波が襲来

氷点下7・7度を記録

1月24日から25日にかけて、非常に強い寒気が九州に流れ込みました。芦北町役場の気象観測装置で25日朝、氷点下7・7度を記録しました。田浦町誌には昭和51年1月24日に「大寒波氷点下6・4度を記録」とあり、これを更新する記録的な大寒波となりました。

町内全域で大雪。交通網がマヒ

この寒波により町内全域で大雪となり、山間地では50センチ以上、海沿いの平野部でも20〜30センチ積雪しました。この影響で軒並み交通機関は運転を見合わせ、国道3号では大渋滞が発生。25日の朝、道路には身動きが取れず路上で一夜を明かした車両が連なっていました。26日に道路の除雪が行われた上原区の淵上米作区長は「こんなに積もったのは40年ぶり。早めに除雪してもらってよかった」と話していました。

さらにこの記録的冷え込みで、各家庭の水道管の破裂が相次ぎ、一時約1300世帯で断水となりました。また、果樹やいちごなどの園芸用ハウスが雪の重みで倒壊する被害も多数発生しました。

子どもたちは元気に雪遊び

小中学校などが臨時休校となった25日、子どもたちは一面の銀世界に大喜び。雪だるまを作ったり、雪合戦をしたりする姿を見かけました。



薩摩街道も雪化粧



湯けむりの大野温泉



約110路線の町道を除雪



大渋滞の国道3号



役場前に降り積もる雪

町内は一面銀世界に



かまぐらを作って遊ぶ子どもたち



雪合戦を楽しむ子どもたち



いろいろな雪だるまが町内各地に登場

祝 成人



自覚・希望・感謝を胸に はた 二十歳の門出

芦北町成人式が1月10日、しroyamaスカイドームで行われ、新成人約150人の門出を祝いました。前回の成人式から新成人による実行委員会を組織し、運営の一部を新成人自ら行っています。今回の成人式では、式に先立ち実行委員会で作成した映像を流す演出があり、中学生時代の写真や恩師の祝福のコメントなどがスクリーンに映し出されると、当時の思い出が蘇っていたようでした。



司会進行を務める竹田望さん



成人式実行委員の皆さん



竹崎町長に謝辞を述べる桑原慶伍さん

二十歳の抱負



山元詩織さん
(田浦中出身)

スローガンは「昨日より濃い今日を」

アメリカの実業家・スティーブ・ジョブズは言いました。「Stay hungry, stay foolish.」みなさんはこの言葉をどう解釈するでしょうか。ジョブズは「現状に満足せず、好奇心を持ち続ける」と述べているのだと私は考えます。

私は現在福岡の大学で専ら「まちづくり」について学んでいます。大学生活2年目を迎えるにあたりスローガンを立てました。「昨日より濃い今日を」。いきなり大きな一歩は踏み出せなくとも、昨日より少しだけ濃い今日を過ごす。明日は今日より少しだけ濃い一日を。そうして一日一日を過ごしていくことで、小さな前進がいつの間にか大きな一歩となる。そういった思いを込めて、このスローガンを胸に毎日を過ごしています。

既存の概念にとらわれず新たな意見を発信する。そのような新風を巻き起こすことができるのは私たち若い世代であり、それが私たちが担うべき役割なのだと思います。両親への感謝も忘れず、いつまでも食欲に好奇心と謙虚さを武器に日々精進していきたいと思っています。
(二部抜粋)

二十歳の抱負

「おかえり」の言葉で家族の温かさに気づく。私は大学で理学療法士になるための勉強をしています。日々、課題やレポートに追われ逃げ出したい時もありますが、新しい知識や興味ももてる講義もあり理学療法士になりたいという気持ちには強くなるばかりです。目標の一つである国家試験合格はゴールではなく、スタートだと思っています。スタートに立てるように日々精進していきたいです。

一人暮らしになり家族の温かさに気付かされました。それは「おかえり」という言葉です。言われることが当たり前だと思っていましたが、その当たり前がとても幸せなことだと思いました。なにより両親には一番感謝しています。今まで育ててくださったおかげでここまで来ることができました。私はこの自然に囲まれた芦北町で育ち、素晴らしい友人に出会えたこと、支えてくださった方々に感謝します。成人としての自覚、責任、決意を胸にこれからの人生を力強く歩んでいくことを誓います。
(二部抜粋)



一丸貴代香さん
(大野中出身)

芦高生がご当地弁当のアイデア考案

芦北高校の生徒が本町の食材を使った弁当を考案するアイデアコンテストが1月15日、同校で行われました。くまもと県南フードバレー構想の一つで、肥後銀行が同校やJA、町、県などに働きかけたものです。

農業科の1、2年生が約1カ月をかけてメニューを考え、実際に調理。あしきた牛やアシアカエビ、サラたまなど地元の食材を使った



料理の説明をする芦北高の生徒



高校生が作ったご当地弁当

料理16品が並びました。アドバイザーのホテル日航熊本日本料理弁慶の一ノ瀬勉料理長は「芦北の魅力が再発見してもらえ、料理が出来上がったのではないでしょう」と話しました。今後、今回のレシピを参考にJAあしきたで商品化し、期間限定で販売される見込みです。

町と警察署が連携し安全・安心な町に

「芦北町・芦北警察署『安全・安心』連絡会議」が1月19日、芦北警察署で行われました。

この会議は町と警察署が互いに連携して安全・安心なまちづくりに取り組むため、定期的に行われているものです。会議には竹崎町長、梅下雅豊芦北警察署長をはじめとする町・警察署の幹部など17人が出席しました。

警察署からは町内での犯罪や交

通事故は減少に向かっているものの、高齢者が事件や事故に巻き込まれる傾向が高いと報告がありました。町からは安全・安心に関する取り組みについて報告し、防犯灯や防犯カメラの設置について警察署からアドバイスをもらうなど意見を交換しました。

宝くじ助成で地域活動の備品を整備

財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施している「コミュニティ助成事業」により、内野支部公民館にコミュニティ活動に必要な備品を整備しました。今回整備したのは地域のイベントなどで使用する TENT やイス、テーブル、音響機材などです。

内野地区ではこれまでも夏祭りをはじめ、スポーツ大会など地域一丸となった活動を積極的に行っています。今回の備品整備により今後の更なる活性化が期待されます。



整備した備品（イス・テーブル）



備品を活用して行われた夏まつり

音と動きの調和楽しむ 芦北町音楽祭



専修大学玉名高校の演技

芦北町音楽祭が1月17日、しろやまスカイドームで行われ、町内外から訪れた約430人の観客が歩きながら演奏するマーチングやフロアドリル、ダンスなど7団体の演奏・演技を楽しみました。全国で活躍する専修大学玉名高校の演技では統率のとれた動きに大きな拍手が贈られました。湯浦中出身の鎌木鈴さん（湯浦南）が所属する鎮西高校ダンス部は、昨年8月の日本高校ダンス部選手権で審査員特別賞を受賞している、若さあふれるダンスで観客を魅了しました。



フィナーレの合同演奏



鎮西高校の鎌木鈴さん（写真左から2番目）

平成 28 年度から 軽自動車税の税額が変わります

①原動機付自転車や 125cc を超えるバイク、小型特殊自動車などの税額

車 種		税額（年額）	
		27 年度まで	28 年度から
原動機付 自転車	50cc 以下	1,000 円	2,000 円
	90cc 以下	1,200 円	2,000 円
	125cc 以下	1,600 円	2,400 円
ミニカー		2,500 円	3,700 円
軽二輪（250cc 以下）		2,400 円	3,600 円
小型二輪（250cc 超）		4,000 円	6,000 円
小型特殊 自動車	農耕用	1,600 円	2,400 円
	その他	4,700 円	5,900 円

◆原動機付自転車や 125cc を超えるバイク、小型特殊自動車などの税額は年式や購入時期に関係なく、平成 28 年度から変更になります。



②四輪以上および三輪の軽自動車の税額

◆新車登録年月が平成 27 年 4 月以降の車両（1）や新車登録後 13 年を経過した車両（3）は税額が変更になります。適用される年度については適用年度早見表（A）をご覧ください。

◆平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までに新車登録された軽自動車（四輪および三輪）で環境負荷の小さい車両（2）はグリーン化特例（25%～75%減税）が受けられます。※平成 28 年度のみ適用

車 種			税額（年額）					
			H27.3.31 までの 新車登録車 （変更なし）	H27.4.1 以降の新車登録車				(3) 新車登録後 13 年を経過 した車両 （20%重課）
				(1) 新税額	(2) グリーン化特例（軽課） ※ 28 年度のみ			
					75%減税	50%減税	25%減税	
軽四輪	貨物用	自家用	4,000 円	5,000 円	1,300 円	2,500 円	3,800 円	6,000 円
		営業用	3,000 円	3,800 円	1,000 円	1,900 円	2,900 円	4,500 円
	乗 用	自家用	7,200 円	10,800 円	2,700 円	5,400 円	8,100 円	12,900 円
		営業用	5,500 円	6,900 円	1,800 円	3,500 円	5,200 円	8,200 円
軽三輪			3,100 円	3,900 円	1,000 円	2,000 円	3,000 円	4,600 円

(A) 重課税額の適用年度早見表

新車登録年月日	重課税適用年度
平成 14 年以前（平成 14 年含む）	平成 28 年度～
平成 15 年 1 月～平成 16 年 3 月	平成 29 年度～
平成 16 年 4 月～平成 17 年 3 月	平成 30 年度～
平成 17 年 4 月～平成 18 年 3 月	平成 31 年度～

◆新車登録年月は、車検証に記載されている「初度検査年月」をご覧ください。

※平成 15 年 10 月以前の軽自動車の車検証には初度登録に「年」しか記載されていないものがあります。

軽自動車税は毎年 4 月 1 日に登録されていることを基準に 1 年間の税額が課されます。
廃車手続きなどを予定している場合は 3 月 31 日までにお済ませください。

*問い合わせ先 税務課 固定資産税係 ☎（８２）２５１１（内線１２５）



水俣市役所前を一齐にスタートする選手



タスキをつなぐ田浦中チーム

県内で最も古い歴史を持つ第 66 回熊日三太郎駅伝大会が 1 月 10 日に開催され、新春の三太郎路を駆け抜けました。一般の部では水俣 A が 1 区からトップを譲らず大会新記録で優勝。芦北 A は 2 位でゴールしました。中学生の部では佐敷中の 8 区村田海晟選手とアンカーの井川龍人選手が昨年に続き区間新記録の力走で追い上げ、2 位に入賞しました。

【一般・高校】

1 位 水俣 A 2 時間 16 分 21 秒※大会新
2 位 芦北 A 2 時間 20 分 57 秒
3 位 水俣 B 2 時間 24 分 05 秒
4 位 津奈木 A 2 時間 27 分 09 秒
6 位 芦北 B 2 時間 30 分 52 秒

【中学】

1 位 津奈木中 2 時間 23 分 32 秒
2 位 佐敷中 2 時間 24 分 24 秒
3 位 袋中 2 時間 26 分 35 秒
4 位 田浦中 2 時間 30 分 25 秒
8 位 湯浦中 2 時間 40 分 53 秒

〈区間賞〉（敬称略）

【中学】

8 区 村田海晟（佐敷中）※区間新
10 区 井川龍人（佐敷中）※区間新



懸命に走る選手



ラストスパートをかける選手たち

芦北 A、佐敷中ともに準優勝

第 66 回熊日三太郎駅伝大会

全国都道府県対抗男子駅伝大会で区間 5 位の力走



井川龍人くん
（佐敷中 3 年）

1 月 24 日に広島県で行われた全国都道府県対抗駅伝大会に、佐敷中の井川龍人くんが出場しました。井川くんは中学生区間の 6 区で区間 5 位と力走。前を走っていた二人を抜き去る活躍を見せました。
1 月 27 日に芦北町役場を訪れ、竹崎町長に結果を報告。井川くんは 4 月からは強豪の九州学院高に進みます。「まずはレギュラーに入ることを目指し、高校駅伝で都大路を走りたい」と意気込みを語りました。

芦北に残る文化遺産

今回紹介するのは、佐敷の宮浦地区にある「宮浦阿蘇神社の神殿」です。この神社には相良氏が葦北郡を支配していた時代（戦国時代）に造られた御神体の男女の神像（木像）22体とそれらを守る隨身2体の木像が安置されています。この神像に記された年号などから、少なくとも神社が創建されたのは天文2年（1533）9月ごろより古いものと考えられています。

神殿は現在、覆屋で保護されているため、通常は直接確認することはできませんが、神社建築の中でもっとも標準的な「流造（ながれづくり）」という形式で、17世紀中頃に建造されたと考えられます。流造の特徴は図のとおり正入り口にあたる屋根の一方が長く伸びており、側面から見ると前後が不同で、屋根の構造も木はだ葺きをはじめ、こけら葺きなど幅広い種類が見られます。

神殿の裏側には江戸時代の参拝者が記念に書いたであろう落書きが今なお残されています。中には肥前国（現在の佐賀県）から来た

⑤7 宮浦阿蘇神社の神殿

芦北町指定有形文化財
昭和55年7月1日指定

人が書いたものも確認できます。現在、落書きは犯罪ですが、時代が何百年も経つと落書きも歴史を読み解く貴重な資料となるのですね。



宮浦阿蘇神社



流造の特徴
江戸時代の落書き
＊問い合わせ先
生涯学習課 文化振興係
☎（87）1171（内線145）

各種障害者手当について

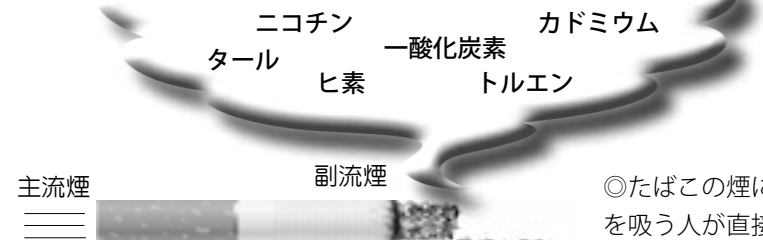
在宅生活で介護を必要とする重度の障害がある人などに支給される手当があります。詳しくは福祉課までお尋ねください。

＊問い合わせ先
福祉課 障害者福祉係
☎（82）2511
（内線152・153）

	特別障害者手当	障害児福祉手当	特別児童扶養手当
対象者	20歳以上で身体または知的・精神に著しく重度の障害があり、日常生活に常時特別の介護を必要とする人	20歳未満で身体または知的・精神に重度の障害があり、日常生活に常時介護を必要とする児童	20歳未満の身体または知的・精神に中度以上の障害がある児童を監護する父母または養育者 ※監護とは 監督・保護すること、面倒をみていること
手当額（月額）	26,620 円	14,480 円	1級 51,100 円 2級 34,030 円
手当の受給（申請）ができない人	●対象者が病院や診療所に継続して3カ月を超えて入院しているとき ●対象者が障害者支援施設などに入所しているとき	●対象児童が障害者支援施設などに入所しているとき ●対象児童が障害を支給理由とする年金などを受給しているとき	●障害児が父母などに監護されていない場合（施設入所など） ●監護されている障害児が障害を支給理由とする年金などを受給しているとき

※手当額は2月15日現在の金額です。

発がん性物質や有害な化学物質



◎たばこの煙から出るニコチンや有害物質のほとんどは物の表面について揮発するため、換気扇を使用したり、窓を開けて換気したりしてもすぐにはなくなると言われています。

◎たばこの煙には、たばこを吸う人が直接肺に吸い込む「主流煙」と点火部から立ち上がる「副流煙」があります。有害成分は副流煙のほうが多く含まれることが知られています。

たばこについての煙たい話 ～たばこと健康～

「たばこは体によくない」というのは何度も耳にしたことがあると思います。今これを読んでいる人、家族や職場など周りにたばこを吸う人はいらっしゃいますか。

かかりやすくなるのは肺がんだけ？

たばこを吸うと肺がんにかかりやすくなります。肺以外にも口の中やのど、食道、胃、すい臓、膀胱、子宮などのがんにもかかりやすくなります。脳卒中、心筋梗塞、動脈硬化、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の原因にもなると言われています。

COPDを知っていますか？

COPD（慢性閉塞性肺疾患）はたばこと関係が深く、発病する人の90％はたばこを吸っている人です。症状としてはせきやたんなどから始まり、病気が進むと階段や坂道で息切れしたり、息苦しさで日常生活が難しくなったりします。あまり知られていない病気ですが2020年までには全世界の死亡原因の第3位になると予想されています。

この病気の予防および治療はまず「禁煙」することからです。

禁煙はむずかしい？

たばこは健康に影響があることを知っていてもなかなかやめられない人も多いと思います。

たばこがやめにくいのは「身体的依存」と「心理的依存」の2つの依存を同時に克服していかなければならないためと言われています。

喫煙が習慣化、またニコチン依存になってしまつたとたばこはやめにくくなるため、現在たばこを吸っていない人はなるべく吸わないように、吸っている人は禁煙に挑戦してみてください。

禁煙には2つの依存克服が必要

①身体的依存

たばこに含まれるニコチンに依存性があります。

禁煙外来の受診やニコチン製剤などを使うことで比較的楽に乗り切れます。

②心理的依存（行動的依存、習慣）

仕事の区切りに一服するなど喫煙が生活習慣の一部になっている状態です。

生活習慣や行動パターンの変更、また家族や周りの人の協力も必要です。

⑦体幹のストレッチ



左手を腰に、右上肢を大きく伸ばしたまま、体を左側に曲げて、元に戻す（2回繰り返す）

反対側も同じように2回繰り返す

連載

あしきた健康体操
ワンポイントストレッチス

『出逢い』

町内の禁煙外来

宮島医院 ☎（82）2254
百崎内科医院 ☎（87）1777

禁煙外来では健康保険を使って禁煙治療が受けられます。禁煙治療では処方される薬にもよりますが、費用が8～12週間で1万3千円～2万円程度（3割負担の場合）です。
詳しくは医療機関にお問い合わせください。

芦北警察署

☎(82)3110



サイバー犯罪に遭わないために

■インターネットの正しい知識を身につけましょう

パソコンやスマートフォン、タブレットなどが普及し、インターネットの利用によって犯罪・トラブルに巻き込まれるリスクも増加しています。インターネットに関する犯罪・トラブルは、「正しい知識と利用法」を身につけていれば防ぐことができるものがほとんどです。

■ネットバンキングに係る不正送金被害が増えています

インターネットバンキングの「ID・パスワード」等を盗み取るウィルスを使用してネットバンキングに不正にアクセスし、利用者の口座から第三者の口座へ不正送金する事案が全国的に多発しています。

対策

- ワンタイムパスワード（一定時間の有効なパスワード）を利用する。
- 不審な入力画面が表示されたら注意する。
- ウィルス対策ソフトは必ず導入する。
- パソコン等のOSやソフトを最新の状態にする。



■通信販売サイトでのトラブルにご注意を

実在する通信販売サイトを模した「偽サイト」、詐欺・悪質商

法を目的とする「詐欺サイト」などで商品を注文し、注文したものと異なる商品が届いたり、商品が届かず返金もされないというトラブルが多発しています。

こんなサイトには注意

- 電話番号など連絡先が掲載されていない。
- 振込先口座が個人名義である。
- 価格が他のサイトに比べ極端に安い。
- 不自然な日本語表記がある。

ID・パスワードの取り扱いにご注意ください

「ID・パスワード」が他人に知られてしまうと、自宅の鍵を他人に盗まれた時と同じように、第三者に勝手に自分のインターネットサービスを利用してしまい、大きな被害につながります。

対策

- 「ID・パスワード」の使い回しはしないこと。
- フィッシングサイトに注意すること。

芦北消防署

☎(82)4731



火の取り扱いを再確認しましょう

寒い日が続きますが、みなさんのご家庭での火の取り扱いは大丈夫でしょうか。

- 火を扱う場所の周りに燃えやすい物はありませんか？
- ストーブやファンヒーターはカーテンや壁、他の家具から十分離れていますか？
- ストーブやファンヒーターの近くに洗濯物など干していませんか？



○仏壇のろうそく、線香のそばに燃えやすい物を置いていませんか？

○灰皿にたばこの吸い殻がたまっていませんか？

○寝たばこはしていませんか？

みなさんもご家庭で火の取り扱いを再確認し、火事を起こさないようにしましょう。



日	月	火	水	木	金	土
芦北町イベントカレンダー 2月18日～3月26日 ※日程は変更になることがあります □内は関連ページ				2月 18 デコボンキッズ (保健センター)	19 3歳児健診 (保健センター)	20 ふれあい交流まつり (きずなの里) 国際交流茶屋 「世界のお正月体験」 (社会教育センター)
21 芦北うたせ杯 ジュニア空手道大会 (しろやまスカイドーム) 粗大ごみ持込日 (清掃センター)	22 権利擁護相談会 (きずなの里) まちなだより 離乳食教室 (保健センター)	23	24	25 デコボンキッズ (保健センター)	26 3～4カ月児健診 (保健センター)	27 津奈木インター開通予定 (南九州西回り自動車道) 老人クラブ連合会 ふれあい演芸大会 (地域活性化センター)
28 第9回公募展授賞式 (星野富弘美術館)	29 生き生き大学閉校式 (社会教育センター) 町立図書館臨時休館 ～3月11日 まちなだより	3月 1	2	3 デコボンキッズ (保健センター)	4 7～8カ月児健診 (保健センター)	5
6 町消防点検 (田浦運動場) ベニシアさん講演会 (地域活性化センター) まちなだより	7 7～8カ月児健診 (保健センター)	8	9	10 県知事選挙告示日 デコボンキッズ (保健センター)	11 県知事選挙期日前投票所開設 (役場2階)～26日 献血(芦北町役場) 年金出張相談 (役場3階会議室)	12
13 町内中学校卒業式 新米パパママ教室 (保健センター)	14	15 町県民税 申告受付期限 1月号	16	17 デコボンキッズ (保健センター)	18 1歳6カ月児健診 (保健センター)	19
20 春分の日 うたせマラソン大会 (芦北海浜総合公園)	21 振替休日 町民講座閉講式 (社会教育センター)	22 幼稚園卒園式	23 県知事選挙期日前投票所開設 (田浦基幹支所)～26日 町内小学校卒業式	24 町内小中学校修了式 デコボンキッズ (保健センター)	25 3～4カ月児健診 (保健センター)	26

図書館休館日

【社教センター】2月29日(月)～3月11日(金) 【田浦図書室】2月22日(月)、3月14日(月)
※蔵書点検のため臨時休館
3月20日(日) 21日(月)

田浦子育て支援センター 行事予定(3月)

3月3日(木)ひなまつり会
8日(火)お別れ遠足
9日(水)～15日(火)思い出のハンカチづくり
22日(火)お別れパーティー



※支援センターは未就園児と保護者なら誰でも利用できます。一時保育も行っています。

子育て仲間づくりや情報交換にお気軽にご利用ください。

▶センター利用時間 毎週月曜日～金曜日
午前9時30分～正午 午後2時45分～5時15分

*問い合わせ先 田浦子育て支援センター
☎(87)0034

児童館からのお知らせ(3月の行事)

《芦北児童館》 お手製カレンダーを作ってみよう
とき 3月21日(月)午後1時30分～
対象 だれでも

《湯浦児童館》 春休み！チャンバラ大会
とき 3月30日(水) 午後2時～
対象 だれでも

※児童館は児童に健全な遊び場、機会を提供し、心身ともに豊かな発達ができるように支援する施設です。

▶利用時間 午前10時～午後5時(月曜日休館)

*問い合わせ先

芦北児童館 ☎(82)3036
湯浦児童館 ☎(86)0074



■活動年表 表中の※印の数字は、上図の数字に対応

	内 容	場 所
平成 8 年	募金活動開始	
平成 13 年 3 月	芦北ひまわり学校贈呈※①	シアヌークビル市バオットセイモン村
平成 14 年 8 月	芦北ひまわり第 2 学校贈呈※②	プノンペン市センソック村
平成 15 年 9 月	あしきたひまわり今村学校贈呈※③	コンボンチャム州チュレイタソー村
平成 16 年 8 月	あしきた今村学校交流会	
平成 19 年 3 月	カンボジアスタディーツアー	
平成 21 年 12 月	芦北ひまわり第 4 学校贈呈※④	プレイベン州スワイサカウ村
平成 24 年 12 月	カンボジアスタディーツアー	
平成 27 年 12 月	芦北ひまわり第 5 学校贈呈※⑤	トゥボークモム州クナーチチュン村



恒例の佐敷小チャリティーバザー



大野小カンボジア募金玉ネギ収穫

カンボジア王国はインドシナ半島の中央に位置しており、年間を通して気温30度を超えとても暑い国です。1970年代には内戦に見舞われ、75年からのポル・ポト政権時代には数百万ともいわれる人々が虐殺されました。93年に新生カンボジア王国が誕生し、「アンコール・ワット」をはじめとする世界遺産には世界中から観光客が訪れています。また治安や経済も復興の歩みを進めています。

カンボジア王国について

平成8年に開始した「カンボジアに学校を贈る運動」の取り組みは、今年の12月で20年を迎えます。みなさんのご協力により、今回5校目の学校が贈呈されました。今回の派遣を含め、これまで学校贈呈式やスタディーツ

「カンボジアに学校を贈る運動」のあゆみ

アーに延べ184名（うち小中高生107名）が派遣されました。現在も、チャリティーバザー、栽培したお米や玉ネギの販売による収益の寄附、募金活動などが続けられています。

芦北ひまわり第5学校贈呈式



この度、平成27年度カンボジア派遣事業の派遣団長として委嘱をいただき、団員28名の健康面精神面での安全安心を確保する責務の重さを痛感しての研修となりました。贈呈式当日、芦北ひまわり第5学校があるクナーチチュン村に到着するとカンボジア王国教育省次官ヘン・シネー様をはじめ、多数の地元関係者の歓迎を受けました。村民の方々と学校に通う子どもたち約500人が参列されるなか挙行された贈呈式では、ヘン・シネー様から芦北町への感謝の言葉が幾度となく述べられました。また、芦北ひまわり第5学校代表の誓いの言葉では、「私たちは、勉強を頑張ります、掃除をして校舎を大切にします、友達と芦北町と仲良くします」と力強く発表してくれました。そして、芦北町の子どもたちのリコーダー演奏や芦北ハイヤの披露、竹とんぼや折り紙遊び、カンボジア桜の記念植樹、ノートと鉛筆等の贈呈と、どれもが芦北の子どもたち一人ひとりの心に残る交流でありました。

カンボジア学校贈呈式に参加して
団長 竹浦 裕道

今回、5校目の贈呈に向けて取り組んだ町内各小中学校のチャリティーバザー、お米作りや玉ねぎ栽培、芦北町と芦北町国際交流協会が丸と丸と取り組んだ募金活動等の熱い心がクナーチチュンの子どもたちと村民の皆様にしつかり伝わったのだと強く感じ、握手する手にも力がこもりました。派遣が終わった今、団員28名無事元気に帰町できたことが最大の喜びです。そして、何よりも、カンボジアへの学校贈呈に向けた芦北町民の取り組みが、クナーチチュンの子どもたちと村民の皆様の感謝の言葉や喜びとなり、希望の笑顔でお互いの気持ちに伝わり合いました。このよう素晴らしい思い出・体験を周りの友達にも紹介し、団員自らもこれからの人生に活かして、国際感覚を持った人間に成長してもらいたいと思います。最後になりますが、今回の派遣は、私にとりましても貴重な体験であり、絶好の機会を与えていただいたことに、竹崎町長はじめ関係者の皆様に感謝申し上げます。

Voice

カンボジアに学校を贈る運動が始まった当時小学生で、1校目の芦北ひまわり学校贈呈式にも参加した木ノ下好太さん（新町）にお話を伺いました。

自分が小学生の頃に始まった活動が、こんなにも長い間継続され、5校目の学校を贈るまでになるとは思っていませんでした。1校目の贈呈式に参加した際に、ペンキ塗りの作業を一生懸命手伝ってくれる少年が学校に通えないことを知り、とてもショックだったことを覚えています。いまだに学校に通えない子がいることは悲しいです。まだ支援が必要なのだと思います。支援には様々な方法があると思いますが、バザーや募金活動がこれからも続いていけばよいなと思います。



派遣事業に参加して

湯浦小学校5年 橋本 呼幸

贈呈式には、とてもたくさんのカンボジアの方が来てくださって、芦北ひまわり第5学校の完成を祝ってくださいました。私は、この場に参加できたことをうれしく思い、取り組みをしてきた芦北町民であることに誇りを感じました。

また、ひまわりの種を植えたとき、たくさんの人に種をあげたら、その中の一人が「オーくん」と言ってくれたのでうれしかったです。とても笑顔がすてきな子どもたちでした。

「もし、ひまわりが咲いたら、私たちのことを思い出してくれるかな・・・」ひまわりの花が咲く芦北ひまわり第5学校で、これからたくさんの方が卒業して、そのうちの一人でも、日本に興味を持ってくれたらいいなと思います。



カンボジアに行った感想

内野小学校6年 丁 美咲

私がカンボジア派遣事業に参加した理由は、カンボジアの歴史や文化を学ぶと思ったからです。

CCHでは子どもたちと交流しました。交流する前は、「仲良くできるかな」と心配だったけど、カンボジアの子どもたちから明るく積極的な話しかけてくれたので、とても楽しかったです。次は、5校目の小学校の贈呈式と交流会に行きました。贈呈式には、たくさんの方がいました。私たち派遣団はリコーダー演奏や芦北ハイヤを披



「アラピア」と、日本の曲をリコーダーで演奏をしました。



カンボジア学校贈呈式に参加して

佐敷小学校5年 塩根 偉成

クナーチチュン小学校の贈呈式に参加した。学校に着くと、子どもたちが手を合わせて迎えてくれた。贈呈式の間、現地の子どもたちはニコニコしていた。うれしそうだった。募金活動をやったよかったと思った。交流会では鉛筆とノートを一一人に手渡した。すごく喜んでくれた。次に、折り紙で

カンボジアの感想

湯浦小学校6年 丁 梨里

露しました。その後、現地の子どもたちと折り紙を折ったりして交流しました。カンボジア派遣事業に参加して今の私たちにできることはないか考えていけたらいいなと思いました。

カンボジア派遣3日目は、孤児院を訪問しました。孤児院には、お母さん

お父さんのいない子どもたちがいて、最初は「とても暗いのかな」と思っていたけれど、みんな私たちよりも明るくてびっくりしました。みんなすぐになつてく

れて、子どもたちと一緒に、とても楽しかったです。

4日目は、学校の贈呈式に行きました。私は、カンボジアの歌「アラピア」と、日本の曲をリコーダーで演奏をしました。

「うさぎ」の折り方を教えた。言葉は通じなかったけど、楽しくできたのでうれしかった。

カンボジアに行つて

佐敷小学校6年 佐藤 大雅

カンボジア派遣の3日目は、CCH（孤児院）を訪問した。親と離れて暮らす小学生・中学生、幼い子もいた。仮面ライダーの登場にみんな喜んでいて、みんなちゃんと将来の夢を持っていて、すごいと思った。

四日目の贈呈式では自分たちがチャリティーバザー

などをして出来た学校を見ることができて、とてもうれしかった。もつとチャリティーバザー



募金活動をやったよかったと思った。交流会では鉛筆とノートを一一人に手渡した。すごく喜んでくれた。次に、折り紙で

緊張したけれど、練習よりも上手に吹けていてとてもうれしかったです。芦北ハイヤも楽しく踊れたので良かったです。

知らなかったカンボジアの悲しい歴史を知りました。

カンボジアに行つて思つたこと

田浦小学校6年 市原 秀隆

クナーチチュン

小学校のひまわり学校は、黄色い建物でした。たくさん

の子どもたちが、大人の人たちが式に参加していました。仮面ライダーも参加してくれました。ぼくたち

「チーム芦北」で、リコーダー演奏をしました。交流会では、一緒に折り紙で鶴を折りました。無事に済んで、ほっとしました。

そして、トゥールスレン博物館とキリングフィールドへ行き、多くの



などを頑張つて、早く6校目、7校目を建てたいと思った。

カンボジアで学んだこと

湯浦小学校6年 中村 玲央

ぼくは、この派遣事業で、カンボジアの歴史や日本と違う点、同じ点などを知ることができました。

カンボジアでは、小学校を卒業していない人も多く、日本に比べて識字率が低いことに驚きました。でも、孤児院に行ったときに壁や天井に、英語や日本語の「はな」「りんご」などの文字が書いてありました。

勉強ができる環境があればいいのじゃないかと思いました。また、貧富の差があることや、学校の先生になるための勉強をあまり

できないまま先生になっていることなどを知りました。カンボジアがどんな状況で、日本がどれだけ役に立っているのか知ることができてよかったです。

カンボジア派遣事業に参加して

佐敷小学校6年 長瀬 京花

28日、クナーチチュン小学校の贈呈式と交流会が行われた。小学校に行くまでの道はでこぼこしていて、この道を登校するのは大変だろうなと思った。交流会では、折り紙を一緒に折った。鶴を完成させたときの顔はとても笑顔で、「喜んでもらえてよかった」と、心が温かくなった。

29日は、トゥールスレン博物館、キングフィールドも視察した。大量の人々が虐殺されたことを知り、「二度と起きてほしくない」という思いでいっぱいになった。

今回の派遣事業では、日本とカンボジアの文化の違いや生活の違いなど新たな発見がたくさんあり、経験したこととをたくさんの人に伝えたいと思った。そして、私も身近なところから人の役に立つ行動をしていきたいと思った。



カンボジア派遣事業に参加して

佐敷中学校1年 草野 愛良

クナーチチュン小学校で贈呈式がありました。私たちが関わって建てられた学校で皆が勉強してくれることに感動しました。今まで寄附してきたことを誇りに思います。贈呈式で私たちは芦北ハイヤーリコーダー演奏を披露しました。その後教室に入り、子どもたちにノートやボールペンを渡しました。笑顔でもらってくれ、私も笑顔になりました。そして学校の前に願いを込めて3本の木を植えました。JICAカンボジア事務所も訪問しました。JICAの全体目標「よりよい明日を、世界の人々と」という言葉が心に残りました。私はこの言葉を聞いて、自分もカンボジアと日本の架け橋を作りたいと感じました。

カンボジアの子どもたちにふれて

佐敷中学校1年 塩根 優斗

JHPやCCHを訪問した。CCHの子どもたちには親がない。ほとんどの子どもたちがごみ山で生活していたところをJHPの人たちに保護されてきたそうだ。しかし、CCHの子どもたちは、そんなつらい生活をしていいたとは思えないほど、明るく元気だった。辛い経験をしたこの子どもたちにも幸せになってほしいと思った。カンボジア派遣事業に参加して、カンボジアの子どもたちから、感謝する心と困難に負けない心を学んだ。また、カンボジアには、世界遺産など、有名な遺



カンボジアへ行って

佐敷中学校3年 石矢 涼花

カンボジア派遣2日目にJHPを訪問しました。そこでカンボジアの子どもたちにとって私たちの交流は、将来に大きく影響するということを聞き、贈呈式と交流会への緊張感が高まりました。交流会で子どもたちに、私たちが来ることをどう思っているかを聞くと、「外国の子どもと交流することがないため、うれしい。友だちになりたい。」と答えてくれました。もうひとつ、新しい学校で勉強できるのはうれしいかを聞くと、「勉強できるの



芦北町の親善大使 たくさんの笑顔にふれて



跡がたくさんあったが、信じられないようなつらい歴史があり、まだ支援を必要としていることも分かった。今後、困っている国や人たちが少しでも幸せになれるよう、募金活動などを行っていきたい。

カンボジア派遣事業に参加して

佐敷中学校1年 田中 志歩

私は初めてカンボジアに行きました。カンボジアは、びっくりすることが多く戸惑いましたが、その中で一番心に残っていることは、小さな子どもたちが裸足で商売をしていたことです。本当にビックリしました。

CCH（孤児院）も訪問しました。子どもたちはみんなとても元気がよく、すごくニコニコしていました。笑っていたのは私よりも小さな子どもたちばかりだったので、カンボジアの子どもたちは、強いなと思いました。

今回のカンボジア派遣事業でたくさんのことを学ぶことができました。今まで、当たり前だと思っていたことは、当たり前ではないということが今回の一番の学びでした。

がうれしい。」とキラキラした目で答えてくれました。カンボジアは、日本に暮らす私にとってはまるで異世界でした。この6日間のことは一生忘れられないと思います。

カンボジア派遣事業に参加して

田浦中学校3年 川元 由比

3日目は、JHPに行きました。JHPで働いているカンボジアとタイの方が、国をつくるにはまず教育だと言われていました。CCHという孤児院にも行きました。この孤児院から、アメリカやイタリアへ留学する人もいます。すごいなと思いました。

カンボジアに行ってみて、プノンペンではかなり近代化が進んでいたたり、でも田舎では道が整備されていなかった



たり、不完全学校もあったり、まだまだ支援は必要だということがわかりました。自分にもできる募金などからコツコツしていきたいと思いました。そして、すべての子どもたちが安心して勉強できるようになればいいと思います。



カンボジア派遣事業に参加して

八代高校2年 河添 若奈

「芦北ひまわり第5学校」贈呈式では、なんと約五百人の参加者が笑顔と盛大な拍手で出迎えてくれました。

式ではカンボジアの民謡「アラピア」のリコーダー演奏をしました。子どもたちは目を輝かせて笑顔で聞いてくれました。折り紙制作では真剣に私の動作を見て、真似をし、取り組んでくれました。完成したとき、ありがとっを手を合わせキラキラとした笑顔を見せてくれ、私は自然と笑顔が増えていたのを覚えています。言葉が通じなくても、ジェスチャーや笑顔によって心を通わせることができる事を実感しました。現地の子どもたちはとても可愛く素直で人懐っこく、通学する学校が出来たことを本当に喜んでくれている様子がよく伝わってきました。

カンボジア派遣事業で感じたこと

八代工業高校1年 石橋 悠生

自分は、前回のカンボジアスタディーツアーに参加しており、2回目の参加でした。

ＣＣＨでは、仮面ライダーになり握手会をしました。子供たちのきらきら光る目がとても可愛かったです。ですが、その子供たちは、日本でいう児童養護施設のようなところである孤児院（ＣＣＨ）で暮らしています。子供達が実際に生活している部屋を見て、とても不便なのではないか、学校を贈るだけじゃなく、ほかの支援が必要なのではないかと思いました。ＪＨＰでは、カンボジアの教育事情について学び、家の事情などで学校をやめる人が多いことなどを知りました。

2回目のカンボジア派遣でしたが、さらに深くカンボジアについて学ぶことができてよかったです。

カンボジアで学んだこと

八代清流高校2年 田中 芙実

自分も何か役に立ちたい。自分には何ができるだろうか。という強い気持ちで今回のカンボジア派遣事業への参加を決意した。

芦北ひまわり第5学校贈呈

芦北町長（芦北町国際交流協会会長） 竹崎 一成

平成21年に4校目の校舎を贈って約6年、念願の5校目を首都プノンペンから4時間ほど離れた村、クナーチチュン村に贈呈しました。現在、約190人の生徒がこの新しい学校に通っています。教室には、新しい机や椅子、黒板などの備品も整備され、子どもたちが安全に学べる環境になりました。

以前の学校は、屋根はトタンできており、床は土のまま、竹で造られた壁は傷みもひどく、雨風が吹き込み、倒壊の危険性が高い状態であり、勉強どころではありませんでした。それでも、授業は中止せず、一所懸命勉強していたのです。やる気あふれるカンボジアの子どもたちのために学校を贈れたことをとても嬉しく思います。

校舎の贈呈式には、本町から小中高校生を中心とした28人を派遣したところ、約500人の村人が集まり、盛大に迎えてくれました。竹浦教育長を団長とするこの派遣団には、寺本議長、引率の先生方、同行取材記者、芦北町国際交流協会関係者も参加し、町とカンボジアをつなぐ親善



ＣＣＨや現地の子どもたちと交流する際に、目をキラキラと輝かせ、一生懸命語りかけてくる姿勢に感動した。また、折り紙や竹とんぼを使つての交流会のときは、使い方、作り方、わからないことはとことん聞き、満足のいくまで追求する姿勢に学ぶものがあつた。そして、「今日」を生きるために、小さい子が必死に道路で商売をしている姿には胸がいっぱいになった。

今回の派遣事業で、多くのことを学び、感じた。それをふまえて、これからの生活に活かし、今できることを実践していきたい。



【贈呈式出席者】

寺本 修一（副団長）
木下 賢 ・松本 由貴子
宮島 博美・岩本 賢二
坂本 梓織・佐藤 直子
川崎 浩平・川尾 敏浩
白坂 美弥子

※文章掲載者を省略します。

芦北町国際交流協会からのお知らせ

5校目の学校建設に際し、町内外の多くの皆様にご支援・ご協力をいただきました。おかげさまをもちまして、5校目の校舎を贈ることができました。本当にありがとうございました。

本協会では、これからもカンボジアへの支援を継続していきます。これからも、皆様のご協力をお願いいたします。

5校目校舎寄附額

7,115,000円

募金残高（H28.2.8現在）

719,013円

Voice

今回、芦北ひまわり第5学校贈呈式に参加された、漫画家・村枝賢一さんにお話をうかがいました。

今回贈呈した学校の壁に私は絵を描き、石橋悠生君には仮面ライダーに扮してもらいました。現地の子どもたちは目を輝かせてくれ、よい交流ができたと思います。カンボジア派遣に参加し、教育や衛生、交通マナーなど日本とは異なることが多く驚きもありましたが、これから発展してゆく国のエネルギーも感じました。現地での視察や交流を通して、派遣事業に参加した子どもたちの成長も感じることができました。実際にカンボジアを訪れ、あらためて、とてもよい取り組みだと感じました。



古墳

熊本県装飾古墳一斉公開—春開催—

普段見ることができない古墳を一斉公開期間中は専門職員の解説を聞きながら見学できます。

■公開日 ①3月19日(土)、②20日(日)
午前10時～午後4時

■公開会場 ①塚坊主古墳(和水町)、石之室古墳(熊本市)、横山古墳(山鹿市)、宇賀岳古墳(宇城市) ②大村横穴群(人吉市)、大坊古墳・永安寺東古墳・石貫ナギノ横穴群・石貫穴観音横穴(玉名市)、京ガ峰横穴群(錦町)、鍋田横穴(山鹿市)

■入場料 無料 ※直接現地へお越しください。

＊問い合わせ先

県立装飾古墳館 ☎0968(36)2151

熊本県環境センター 3月のイベント

【作って飛ばそうペットボトルロケット】

▶日時 3月5日(土)午前10時～正午
▶場所 熊本県環境センター(水俣市)
▶募集 20人(先着順) ▶費用 無料
▶申込期限 2月27日(土)まで

【星空観察・里地里山体験教室】

▶期日 3月12日(土)～13日(日)
▶場所 あしきた青少年の家ほか
▶募集 30人(応募多数時抽選)
▶費用 一般2,050円、小中高生1,230円
▶申込期限 2月28日(日)まで

◎上記参加申し込み方法 住所、氏名、年齢、電話番号を明記してハガキ、FAX、Eメールで申込

＊申込・問い合わせ先

熊本県環境センター
☎(62)2000 FAX(62)1212
Eメール:center@kumamoto-eco.jp

大学

大学通信教育合同入学説明会

▶日時 2月27日(土) 正午～午後5時
(参加申込不要、入場無料、入退場自由)
▶場所 エルガーラホール8階
(福岡市中央区天神1-4-2)
▶対象 一般および高校生
▶参加校 大学通信教育を行う私立大学24校、
大学院10校、短期大学6校
▶内容 各学校ごとの相談コーナーで講義内容、
学習方法、受講手続きなどの相談

＊問い合わせ先

公益財団法人 私立大学通信教育協会
☎03(3818)3870

申請

ハンセン病 補償金の申請手続き
期限が迫っています

過去にハンセン病にかかったことがある人には
国から補償金(和解金)が支払われています。す
でに亡くなられた人も対象となります。

▶申請期限 3月31日(木)
※訴訟の手続きが必要ですので余裕を持って相談
ください。

▶相談窓口 公益財団法人 沖縄県ゆうな協会
☎098(832)9528

※相談者のプライバシーは固く守られます。

＊問い合わせ先

熊本県 健康づくり推進課
☎096(333)2210

募集

肥薩おれんじ鉄道友の会
会員募集中

▶会員特典 ①会員証発行②おれんじ券(金券)
プレゼント③おれんじちゃんおすすめの店での
割引、ドリンクサービスなど④沿線イベント紹
介や観光情報の送付
《3月まで特別キャンペーン実施中》
▶対象:県内在住の3年会員(新規・既存)
▶内容:1日フリー切符「わくわく切符」2枚
を毎月抽選で3人に贈呈
▶入会方法 募集チラシの郵便振替で申し込み
※ホームページからも申し込みできます。
※チラシ設置場所(佐敷駅、その他の有人駅)
▶会費 1年会員/1,000円 3年会員/3,000円
▶会員期間 会費納入時から1年または3年

＊問い合わせ先

肥薩おれんじ鉄道友の会事務局
☎0965(32)5678

表彰

永年無事故運転者表彰の申込
(10年・20年・30年・40年)

永年無事故運転者表彰が秋の全国交通安全運動
時に行われます。該当する人はお申し込みくださ
い。お申し込みのない人については表彰されませ
んのでご注意ください。

■該当者 芦北地区交通安全協会の会員で免許取
得後今年の6月末で10年以上経過している人
※平成25年7月1日から28年6月30日までの
3年間に交通違反した人は該当しません。また人
身事故を起こされた人は、それ以降の期間が該当
します。

■申込期間 3月1日(火)～5月31日(火)

■持ってくるもの 印鑑、運転免許証

＊申込・問い合わせ先

芦北地区交通安全協会事務局(芦北警察署内)
☎(82)3110(内線442)

南九州西回り自動車道

芦北IC～津奈木ICが開通します

▶開通日:2月27日(土)

※一般車両が通行できる時刻は未定です

相談

事業主の皆さまへ 女性の活躍推進
の取組をお願いします

女性の職業生活における活躍の推進に関する法
律が成立しました。常時雇用(※)する労働者が
301人以上の事業主には次のことが義務付けられ
ました。300人以下の事業主は努力義務となります。
平成28年4月までに取組をお願いします。

□次の4項目についての状況把握、課題分析

①採用者に占める女性の割合②勤続年数の男女
差③各月の残業など労働時間の状況④管理職に
占める女性の割合

□行動計画の策定、社内周知、外部への公表

□行動計画を策定したことの熊本労働局への届出

□女性の活躍に関する情報公表(1項目以上)

※正社員だけでなく契約社員などで1年以上雇用
されると見込まれる人を含みます。

＊問い合わせ先

熊本労働局雇用均等室
☎096(352)3865

募集

熊本県シルバースポーツ交流大会
参加者募集

■競技種目(16種目) ラージボール卓球、テニ
ス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、
ペタンク、ゴルフ、健康マラソン、弓道、剣道、
グラウンドゴルフ、なぎなた、太極拳、ソフトバ
レーボール、サッカー、ダンススポーツ

■競技会場 熊本県民総合運動公園ほか4会場

■日程 5月11日(水)～20日(金)※予定

■参加資格 県内在住で平成29年4月1日時点
で60歳以上の人(昭和32年4月1日以前に
生まれた人)※健康マラソン女子は50歳代の
人も参加できます。

■参加費 個人競技は700円、団体競技は種目
により金額が異なります。

■募集締切 3月22日(火) 必着

■申込方法 役場福祉課、教育委員会などに置い
てあるパンフレットで申込みください。

＊問い合わせ先

(一財)熊本さわやか長寿財団生きがい推進課
☎096(354)3083

住宅用地の分譲開始に向け準備を進めています

2015年12月号に掲載した住宅用地分譲に
ついては現在区画ごとの不動産登記を行ってい
ます。全区画の登記完了後、募集を開始します。

募集開始や売却価格などについては、町ホー
ムページや募集チラシなどで後日お知らせしま
す。

＊問い合わせ先 総務課 管財係 ☎(82)2511(内線216)

◎洲崎分譲地

◆所在 芦北町大字小田浦字洲崎および宮ノ元地内

◆区画数 全9区画(1区画約90坪～120坪)

お誕生おめでとう

H28.1. 1～1.31 受付分（敬称略）受付件数 6 件

氏 名	出生日	性別	保護者	区
漆橋 結月 ゆづき	1 2. 2 2	男	秀紀	湯浦北
松原 優眞 ゆうま	1 2. 2 5	男	孝樹	花岡北
吉尾 澪花 みおか	1. 8	女	裕次郎	吉尾
福浦 清 きよし	1. 8	男	清一	湯浦北
中原 夕有実 ゆうみ	1. 2 0	女	正博	沖

※本町窓口に届け出た人で、承認を得た人を掲載しています。
町外に提出した人で、掲載を希望する場合は、役場総務課
秘書広報係までご連絡ください。

ご冥福をお祈りします

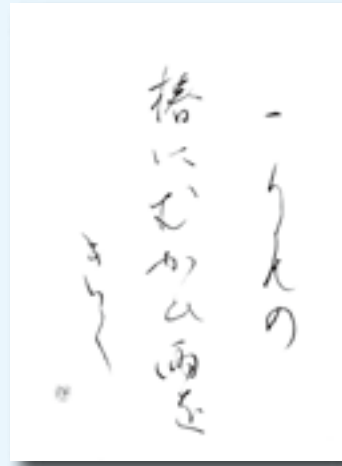
H28. 1. 1～1.31 受付分（敬称略）受付件数 39 件

氏 名	死亡日	年齢	区
本郷 田守	1 2. 2 4	5 3	田浦町 1
浪邊 キクノ	1 2. 3 1	9 9	小田浦 7
山本 實	1. 1	8 7	豊岡
大矢 義雄	1. 3	8 1	湯浦北
木藤 アサエ	1. 3	8 7	湯浦南
釜 幸子	1. 4	8 9	湯浦東
池松 正治	1. 5	8 5	古石北
濱田 キメノ	1. 6	9 2	田浦町 2
才原 正治	1. 7	8 7	天月
山下 克巳	1. 9	6 9	田浦町 1
山元 政司	1. 1 0	8 4	計石東
山川 敬郎	1. 1 3	8 1	湯浦南
伊津野 セツ子	1. 1 3	1 0 3	湯浦南
宮下 正光	1. 1 3	8 4	白岩
須崎 若松	1. 1 4	8 2	宮崎
坂口 ツヤ子	1. 1 4	7 9	海浦 2
井樋口 ヤスエ	1. 1 5	9 0	田浦町 2
宮島 敏子	1. 1 8	7 8	海浦 2
鶴坂 アキノ	1. 1 8	1 0 2	新町
岡田 秋義	1. 1 9	8 5	田浦 1
山本 哲男	1. 2 0	8 5	大岩二
緒方 ケサヲ	1. 2 2	8 9	國見
大見 ツヨ	1. 2 2	8 4	田浦 1
濱田 アツ子	1. 2 3	9 3	井牟田 1
吉本 信人	1. 2 3	7 9	吉尾
加藤 トシ子	1. 2 4	8 9	宮崎
鶴川 實	1. 2 5	8 7	大尼田
川上 スエノ	1. 2 5	9 3	白岩
横田 ジツエ	1. 2 9	9 1	田浦町 3
橋本 澄江	1. 2 9	1 0 1	新町
平生 勝義	1. 3 0	8 2	平生
小谷 二千郎	1. 3 0	7 5	永谷
勝田 ハルモ	1. 3 1	8 9	大野

※本町窓口に届け出た人で、承諾を得た人を掲載しています。

書道（かな）

【町民講座】



一藤 清美

今月号にはとじ穴がありません

今月号は写真構成の都合上、とじ穴（パンチ）をあけておりません。とじ穴の位置は広報紙裏面に表示していますのでご活用ください。

◎ご意見を募集しています

とじ穴や広報紙全般について、ご意見などありましたら、担当までご連絡ください。

＊問い合わせ先

総務課 秘書広報係（広報担当）

☎（８２）２５１１（内線２１２）

編集後記

▼広報写真「一枚写真の部」で特選を受賞することができました。赤ちゃんの表情が評価されたのだと思います。元気に泣いてくれた赤ちゃんに感謝です。▼今回、レイアウトの都合により、とじ穴を開けていません。広報紙をファイルなどにとじておられるかたには、ご不便をおかけします。とじ穴がないことで、ペー지를またいだ写真を使うなど、レイアウト上の制約がなくなり、紙面の自由度が上がります。皆さまからのご意見をお待ちしています。（上野）

▼1月24日に降った雪は、思わぬ大雪となりました。23日から旅行に行っていたのですが、帰って来るとまるで雪国。驚きました。翌朝は新雪をざつくざつと踏みながら出勤しました。どんなに大変でも、雪を見るとどうしても子どものようにしゃべりだしますね。でも雪がとけると「やっぱり普段通りの生活って幸せ」とも思いました。もう二度とないだろうという大雪は、いろいろな思い出をのこして溶けていきました。（スギ）

県広報コンクール

広報写真部門で特選



第59回熊本県広報コンクール一枚写真の部で芦北町が特選を受賞しました。受賞したのは広報あしきた5月号の表紙で、佐敷諏訪神社例大祭で行われた赤ちゃん土俵入りの様子を写したものです。

今後も、よりよい広報紙づくりを目指していきます。



社会教育センターで行われる町民講座に元気に通う宮島昌さん。今月号の町民講座作品で掲載している絵手紙の作者です。宮島さんは月2回の講座に欠かさず出席しています。

これまでに宮島さんは町民講座の書道や水墨画などを経験し、昨年4月から絵手紙を習い始めました。もともと絵が好きで小学生の頃からさまざまな絵を描いていた。学校の教員として働いていた戦時中には、文集の表紙の絵を担当することもあったそうです。宮島さんは「絵手紙を描くのはむずかしい」と謙遜しつつも「講座の皆さんといっしょに楽しんでいます」と笑顔を見せました。

まさ
宮島 昌さん（92）
（花岡西）

の一員として、定期的に行われるお寺でのコンサートで歌声を披露するなど、歳を重ねても充実した生活を送っていることが伺えます。元気の源を尋ねると「普段から身体を動かすこと、人と交流することを心がけています」と話す宮島さん。それが健康維持にもつながっているようですね。

あしきた 元気！自慢

皆さんと楽しく交流することが元気の源

町民講座作品紹介

絵手紙



宮島 昌

パッチワーク



矢野 茂美

入賞・入選作品決定

※入選者については3月号に掲載します

「いのち（命）」をテーマに、詩画作品を募集し、2,307点の応募の中から入賞作品を決定しました。最優秀賞および入賞者は下記のとおりです（敬称略）。入賞作品は星野作品とともに展示しています。

◆展示期間 2月9日（火）～5月8日（日）

◆開館時間 午前9時～午後5時

◆休館日 第2・4月曜日

最優秀賞（小学生の部）



「ばあちゃんの笑顔」長谷梨南
(桜山小6年・鹿児島県)

最優秀賞（一般の部）



「健康万歳」湯治美代子（湯浦南）

◆優秀賞・審査員特別賞

◎小学生の部

賞	氏名	学校・学年
優秀賞	中山 柊	木脇小4年・宮崎県
	杉尾 梨佳子	北郷小6年・宮崎県
	田北 佳馨	春竹小2年・熊本市
審査員特別賞	岸上 瑠偉	中沖小3年・鹿児島県
	久一 慶太	来民小5年・山鹿市
	平尾 武尊	八幡小1年・山鹿市
	上畑 瑠真	湯浦小4年・芦北町

◎中学生の部

賞	氏名	学校・学年
優秀賞	斯波 厚姫	油津中1年・宮崎県
	寺岡 愛宙	筑紫丘中1年・福岡市
審査員特別賞	浅田 実穂	湯浦中2年・芦北町
	遠山 奨悟	佐敷中2年・芦北町
	宮川 莉里伽	油津中2年・宮崎県

◎高校生の部

賞	氏名	学校・学年
優秀賞	上村 明日美	岱志高1年
	田中 雅	熊本西高1年
審査員特別賞	吉村 銀平	熊本北高1年
	中村 美月	岱志高1年
	渡邊 かよ	八代東高3年

※高校生の部の最優秀賞作品はありません

◎一般の部

賞	氏名	住所
優秀賞	橋本 寛	熊本市
	田中 トシエ	芦北町（花岡東）
審査員特別賞	清田 いさお	玉名郡玉東町
	今田 豊子	八代市
	梅崎 市子	合志市

最優秀賞（中学生の部）



「この花のように」村田京香
(八代四中1年・八代市)

*問い合わせ先
星野富弘美術館

☎（86）1600

2016
2月 No.134

(とじ穴位置)

発行日／平成28年2月15日
発行／芦北町 編集／総務課
印刷／アスミ印刷

(とじ穴位置)

(再生紙使用)

〒869-5498 熊本県葦北郡芦北大字芦北2015
☎ 0966-82-2511 / FAX 0966-82-2893
http://www.ashikita-t.kumamoto-sgn.jp